

【基本的方向性】

「山形市教育大綱」及び「山形市教育振興基本計画」に基づき、「生涯学び、人と地域とかがわり、よりよい社会を築く人づくり」を目指します。

また、①山形市立図書館基本方針に基づき、生活の充実、地域課題や生活課題への市民の主体的学習を支援するため、多様な資料・情報の充実に努め、身近な情報拠点、地域文化の創造の場としての図書館、②市民とともにさまざまな企画や図書館運営を図ることにより、市民のニーズを反映し、市民からより一層親しまれる図書館を目指します。

さらに、今年度は、より清潔な館内環境の整備に努め、安全安心な図書館を目指します。

【山形市教育振興基本計画における施策の展開】

施策の方向2	生涯学習の推進
基本施策5	生涯学び、人と地域とかがわり、よりよい社会を築く人づくり
施策5-2	市民の主体的学習を支援する図書館運営

【具体的取組】

施策の方向2	生涯学習の推進
基本施策5	生涯学び、人と地域とかがわり、よりよい社会を築く人づくり
施策5-2	<p style="text-align: center;">市民の主体的学習を支援する図書館運営</p> <p>令和2年度は、コロナウィルス感染症拡大に伴う休館等により、貸出者数、貸出冊数ともに前年比で減少した。令和3年度は、より清潔な館内環境の整備に努め、利用の回復を図る。</p> <p>図書館に求められる役割が、従来までの「借りる・読む・調べる」とどまらず、利用者や地域の「課題解決に役立つ情報拠点」へと変化してきていることから、これに応える図書館づくりを推進する。</p> <p>なお、各取組は、コロナウィルスの感染状況を注視しながら柔軟に対処する。</p>

取組1 市民の立場に立った図書館サービスの充実



取組の目的・概要（運営方針）	取組の実施状況（実績）
<p>(1)乳幼児向け資料の充実と子育て支援資料の提供 (G4)</p> <p>①乳幼児向けの絵本等の収集し、資料の充実に努める。</p> <p>②子育てに役立つ絵本紹介パンフレット「絵本と遊ぼう」の作成・提供を行う。</p> <p>(2)児童・青少年向け資料の充実 (G4)</p> <p>児童・青少年用資料の収集に努め、児童書コーナー、ヤングコーナーの充実を図る。また、青少年の進路選択に役立つ資料の収集に努める。</p> <p>(3)高齢者・障がい者向け向け資料の収集と館内環境の整備 (G4 G10)</p> <p>①「読書バリアフリー法」(R1.6.28施行)の目的に沿った、高齢者・障がい者が利用しやすい大活字資料や録音図書資料を収集し、手に取りやすい本の配置や環境の整備に努める。</p> <p>②高齢者・障がい者やその家族にとって関心の高い趣味や医療・介護・福祉等の資料の収集に努める。</p> <p>(4)来館困難者への資料提供 (G4 G10)</p> <p>団体貸出を通して、老人福祉施設や障がい者福祉施設に入所されている方へ資料提供を行う。</p> <p>(5)多言語資料の収集と案内掲示 (G4)</p> <p>①外国人とのコミュニケーション等に役立つ英語や諸外国語の会話集等の資料の収集を行う。</p> <p>②外国人が利用しやすいような多言語表記による館内の案内板や表示板などの充実を図る。</p> <p>(6)清潔な館内環境の整備 (G4 G11)</p> <p>①返却本の消毒作業、館内換気、図書消毒器・予約本受取ボックスの周知を継続する。</p> <p>②入館時のマスク着用・手指消毒・検温のお願いを継続する。</p>	<p>(1)乳幼児向け資料の充実と子育て支援資料の提供 (G4)</p> <p>①乳幼児や児童向けの絵本、児童図書、紙芝居等について、職員が図書館流通センターなどから情報を収集し、資料の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童向図書所蔵数 R4.3月末 約 91,613冊 (R3年度 受入 2,516冊) ・紙芝居所蔵数 R4.3月末 約 3,166冊 (R3年度 受入 67冊) <p>②「絵本とあそぼう」を作成し、1歳6ヶ月検診時に配布した。新年度に向けて新刊の取り入れや著作権問題のクリアにする改訂を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行部数 2,500部 <p>(2)児童・青少年向け資料の充実 (G4)</p> <p>児童・青少年用資料の収集を行い、児童書コーナー、ヤングコーナーの充実を図った。また、青少年の進路選択に役立つ資料の収集を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年向図書所蔵数R4.3月末 約4,469冊 (R3年度 受入 184冊) <p>(3)高齢者・障がい者向け向け資料の収集と館内環境の整備 (G4 G10)</p> <p>①高齢者が利用しやすい大活字資料や録音図書資料の収集を行った。高齢者が分かりやすく手に取りやすい本の配置と環境の整備を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大活字図書所蔵数 R4.3月末 約2,992冊 (R3年度 受入 77冊) <p>②高齢者や周りの家族にとって関心の高い趣味や医療・介護・福祉等の資料の収集を行った。</p> <p>(4)来館困難者への資料提供 (G4 G10)</p> <p>団体貸出を通して、福祉施設、保育施設等へ資料を貸出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提供状況 R3年度 37団体 3,351冊 <p>(5)多言語資料の収集と案内掲示 (G4)</p> <p>①外国人とのコミュニケーション等に役立つ英語や、諸外国語の資料収集、提供を行った。</p> <p>②外国人が利用しやすいよう、多言語表記による案内表示の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多言語資料所蔵数 R4.3月末 約677冊 (R3.4年度 受入 22冊) ・外国語絵本所蔵数 R4.3月末 約 583冊 (R3年度 受入 11冊) <p>(6)清潔な館内環境の整備 (G4 G11)</p> <p>①②継続した。</p>

評価	成果	<p>□ 児童・青少年向けや高齢者、一般向け資料の収集を行い蔵書の充実を図り、貸出者数、貸出冊数の増加につながっている。(P5表 I 参照)</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">令和3年度目標値</th> <th style="text-align: center;">R4.3月末現在</th> <th style="text-align: center;">達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸出者数</td> <td style="text-align: center;">169,000人</td> <td style="text-align: center;">167,814人</td> <td style="text-align: center;">99.2%</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td style="text-align: center;">827,000冊</td> <td style="text-align: center;">809,770冊</td> <td style="text-align: center;">97.9%</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度目標値	R4.3月末現在	達成率	貸出者数	169,000人	167,814人	99.2%	貸出冊数	827,000冊	809,770冊	97.9%
		令和3年度目標値	R4.3月末現在	達成率										
貸出者数	169,000人	167,814人	99.2%											
貸出冊数	827,000冊	809,770冊	97.9%											
課題・改善案	<p>■ コロナ前に比較すると、老人福祉施設や障がい者福祉施設への団体貸出が減少している。令和3年8月、施設向け除籍本リサイクルの案内に、団体貸出のPRを記載した。</p>													

取組2 ICTを活用した情報提供の推進



取組の目的・概要（運営方針）		取組の実施状況（実績）
<p>(1)インターネット予約サービスの利便性向上(G4) インターネットによる図書館資料予約サービスの普及を促進するとともに、より利便性の高いシステムとなるよう運用の充実を図る。</p> <p>(2)メール・レファレンスサービスの普及(G4) 電子メールによるレファレンスサービスの利用の拡大に努める。</p> <p>(3)オンラインデータベースを活用した情報提供(G4) 法令情報や官報情報などのオンラインデータベースを活用した情報提供を行う。</p> <p>※ オンラインデータベース インターネットなどのネットワークを経由し遠隔地から利用できる様々な情報を検索できるデータベースの総称である。多くは民間事業者が構築している商用のデータベースで、提供事業者と利用契約を結び、蓄積された情報を検索・閲覧するもので、データベースには、新聞記事、雑誌記事、ビジネス情報、辞典、人物、文献、法令等情報など数多くの種類がある。</p>		<p>(1)インターネット予約サービスの利便性向上(G4) インターネットによる図書館資料予約サービスの普及を促進するとともに、より利便性の高いシステムの運用を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用状況 R3年度 73.5% (令和3年度目標値 69%) <p>(2)メール・レファレンスサービスの普及(G4) 電子メールによるレファレンスサービスを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用状況 R3年度 8件 <p>(3)オンラインデータベースを活用した情報提供(G4) 法令情報や官報情報などのオンラインデータベースを活用した情報提供を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用状況 R3年度 9件 76枚コピー やましんデータベース 2件 11枚コピー 官報情報 1件 3枚コピー 国立国会図書館 6件 62枚コピー
評価	成果	<p>□ インターネット予約のサービス普及につなげるため、積極的に利用者への案内を行い普及につなげられた。</p>
	課題・改善案	<p>■ オンラインデータベースを活用した情報提供で、使用できるパソコンが1台のみである。利用者希望者が複数となった場合、すぐに使用できない状況となるため、パソコン増設が望ましい。</p>

取組3 資料の収集・整備・保存とその提供の充実



取組の目的・概要（運営方針）	取組の実施状況（実績）
<p>(1)蔵書管理と収蔵スペースの有効活用 (G4)</p> <p>①提供できる資料について、市民ニーズや資料収集方針に基づき、適切な質・量の確保に努めるとともに、限られた収蔵スペースの有効活用を図る。</p> <p>②保育園、幼稚園等の施設や各種団体、一般利用者に除籍資料を提供しリサイクルに努める。</p> <p>(2)郷土資料の充実 (G4 G11)</p> <p>①郷土に関する資料の発行情報の把握に努め、図書、雑誌、パンフレット、チラシ、音声・映像等の資料を幅広く収集し、提供する。</p> <p>②前年中に出版された郷土関係の書籍について、「市民の出版物展」として2月下旬～3月中旬にかけて展示する。</p> <p>(3)地域課題解決の取組支援 (G4 G11)</p> <p>①山形市、山形県で発行している行政資料や地図等を収集し提供する。</p> <p>②起業、資格取得や就労等を支援していくための資料を収集し提供する。</p> <p>③子育て、教育、医療、健康、福祉、まちづくり等の市民生活や地域を豊かにするための資料を収集し、提供する。</p> <p>(4)レファレンスサービスの向上と充実 (G4)</p> <p>①レファレンスニーズに対応できる資料の整備や研修等による専門能力の向上を図り、サービスの向上と充実に努める。</p> <p>②国立国会図書館レファレンス協同データベース、国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービス並びに法令情報や官報情報などのオンラインデータベースを活用し、レファレンスサービスの充実に努める。</p> <p>③レフェラルサービスの蓄積した情報を整理し、将来のサービスに活用する。</p> <p>※ レフェラルサービス 求められる情報に関して、その情報源となる人若しくは機関、組織を知らせるサービス</p> <p>(5)視聴覚資料の提供 (G4 G11)</p> <p>児童・青少年健全育成、地域福祉をはじめ、社会教育に役立つ視聴覚資料を、地域で活動する社会教育団体等へ提供する。</p>	<p>(1)蔵書管理と収蔵スペースの有効活用 (G4)</p> <p>①市民ニーズや資料収集方針に基づき、適切な質・量の確保を図るとともに、限られた収蔵スペースの有効活用を図った。</p> <p>②除籍資料16,000冊を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園、幼稚園等の施設や各種団体には、予約制にして提供した。(78団体利用) ・一般利用者には、館内にリサイクルコーナーを設け、1月半小出しに提供した。 <p>(2)郷土資料の充実 (G4 G11)</p> <p>①郷土に関する図書・雑誌・パンフレット・チラシ、映像資料や地図等を収集し提供した。 山新CD-ROM、樹氷関連資料など</p> <p>(3)地域課題解決の取組支援 (G4 G11)</p> <p>①山形市、山形県で発行している行政資料や地図等を収集し提供した。</p> <p>②起業、資格取得や就労等を支援していくための資料として、各地の商工月報を収集し提供した。</p> <p>③子育て、教育、医療、健康、福祉、まちづくり等の市民生活や地域を豊かにするための資料として、各分野で発行している刊行物等を収集し提供した。</p> <p>(4)レファレンスサービスの向上と充実 (G4)</p> <p>①レファレンスニーズに対応できる資料の整備や、研修等による専門能力の向上を図り、サービスの向上と充実に図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応件数 R3年度 42件 ・照会事項の例 「日蓮について」 「ベニバナについて」 「昭和51年の米価」 「山形市の特攻隊の戦没者」 「朝日連峰の写真が載っているもの」 <p>②国立国会図書館レファレンス協同データベース、国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービス並びに法令情報や官報情報などのオンラインデータベースを活用し、レファレンスサービスの充実に図った。</p> <p>③求められる情報に関して、その情報源となる人若しくは機関、組織を知らせるレフェラルサービスの提供に際し、必要な情報源の整理を行った。</p> <p>(5)視聴覚資料の提供 (G4 G11)</p> <p>児童・青少年健全育成、地域福祉をはじめ、社会教育に役立つ交通安全啓発DVDなどの視聴覚資料について、カモシカクラブ、保育園、コミセン、公民館に貸出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用状況 R3年度 22件 113本

評価	成果	<p>□ 市民ニーズに応える資料収集を行ったほか、除籍資料のリサイクルに努めた。昨年度コロナ対策として、密を避けるため従来とは異なる方法で除籍資料を提供したところ、リサイクル率は、ほぼ100%を達成し、利用者から高い評価をいただいたので、今年度も昨年度と同じ方法でリサイクル事業を実施した、同様の成果をあげた。</p>
	課題・改善案	<p>■ 蔵書スペースが限られており、所蔵資料の整理などによる所蔵スペースの確保が課題となっている。</p>

取組4 多様な学習の機会や活動・発表の場の提供



取組の目的・概要（運営方針）		取組の実施状況（実績）
<p>(1) 講座・講演会の開催 (G4 G11) 郷土の歴史や身近な社会問題など市民のニーズに応える各種講座や、文字・活字文化の日、読書週間にあわせた講演会、郷土出身の作家等を招いた講演会を企画、開催する。</p> <p>(2) 幼児・児童向け事業の充実 (G4 G17) 「絵本とあそぼう」、「おはなしの広場」などのおはなし会のほか、紙芝居、人形劇、などの多様なイベントにより、幼児・児童が物語等に親しむ機会を提供し、読書活動の推進を図る。事業実施においては、図書館ボランティアの協力を得ながら、参加しやすい雰囲気づくりに努める。</p> <p>(3) 展示会のタイムリーな開催 (G4 G11) ① 読書への関心を高めるため、読書週間、教育・文化週間にあわせて資料を展示する。 ② 山形市平和都市宣言事業として戦争と平和に関する資料を展示する。 ③ 開催する講座・講演会のテーマに沿った資料を展示する。</p> <p>(4) 事業実施における図書館ボランティアとの協働 (G4 G17) 上記の各種講座・講演会、乳幼児・児童向け事業、展示会等の企画・運営に際しては、図書館ボランティアと協働で行う。</p> <p>(5) 青少年向けサービスの提供 (G4 G11) 「よのなか科in山形市立図書館」等、中高生、大学生も参加できる講座を開催する。</p>		<p>(1) 講座・講演会の開催 (G4 G11) 感染防止対策をとりつつ、郷土の学識経験者を講師に招き、別紙のとおり講演会を開催した。なかでも、感染拡大中の8月に実施した「戦争と平和を語りつぐ」はライブ配信も行い、今後のモデルケースとなった。</p> <p>(2) 幼児・児童向け事業の充実 (G4 G17) マスクの着用が難しい幼児を対象とした「絵本とあそぼう」は年度当初から開催を止めている。</p> <p>(3) 展示会のタイムリーな開催 (G4 G11) 読書への関心を高めるため、玄関展示コーナー等を活用し、読書週間、教育・文化週間や戦争と平和に関する資料の展示、図書館ボランティアの紹介等を行った。また、講座等に関する内容のほか、市環境課による時宜にあったテーマの特集等を企画展示した。 昨年からはじめた「本の福袋」は、山形三中与協力し、生徒による「お薦めの本」を加えた。普段手にしない本との出会いを目的に、テーマごと2～3冊を詰めた福袋100袋準備し、好評を得て貸出した。テーマの例としては、「プロが語るリーダーの条件」「落語で初笑い」「映画になった小説」「燃える闘魂」「現代アート×創造都市」など</p> <p>(4) 事業実施における図書館ボランティアとの協働 (G4 G17) 各種事業の企画・運営に際しては、図書館ボランティアと協働で行った。</p> <p>(5) 青少年向けサービスの提供 (G4 G11) 「よのなか科的プレゼンに強くなる講座」を3回シリーズで実施した（定員8名）。高校生～高齢者までが参加し、プレゼンやスピーチの仕方を異世代同士で交流しながら体験的に学んだ。</p>
評価	成果	<p>□ ボランティアの協力を得て郷土有識者人や作家を講師とする講座・講演会、読み聞かせ等の幼児・児童向け事業を開催した。</p>
	課題・改善案	<p>■ 一般向け事業においても、子ども向け事業においても、新型コロナウイルス感染症への対応をいかにとるかが課題となっている。 コロナ禍における新しい取り組みとして、市民講座「戦争と平和を語りつぐ」をリアルとZOOMによる聴講の二元で実施した。</p>

取組5 学校図書館等との連携と教育活動への支援



取組の目的・概要（運営方針）		取組の実施状況（実績）
<p>(1)学校図書館の運営支援</p> <p>①学校図書館の運営を支援するため、図書整理員研修会を開催する。</p> <p>②学校を訪問し、学校図書館の運営の工夫や課題、児童生徒の委員会活動について、情報交換や助言等の支援をする。</p> <p>(2)探究型学習支援の充実等</p> <p>①児童生徒の探究型学習支援のため、学校からの依頼に基づき教科等のテーマに応じた資料を選定し、団体貸出により提供する。</p> <p>②夏休み自由研究相談会を開催するほか、自由研究のテーマ選定や研究の進め方などに役立つ図書を展示するなど、児童生徒の探求型学習を支援する。</p> <p>③学校との共催による学校訪問おはなし会を、職員が図書館ボランティアの協力を得て訪問し実施する。</p> <p>(3)職場体験学習等の受け入れ</p> <p>①中学2年生の職場体験学習をはじめ、児童生徒の職場体験や就業体験を受け入れる。</p> <p>②小学校のまち探検や社会科見学、中学校の社会科学習等の図書館見学受け入れを通し、図書館への理解と児童生徒の利用促進を図る。</p> <p>(4)「としょかんKids」の発行と学校との協力の新聞「としょかんKids」の発行に際しては、学校の協力のもと児童・保護者らのお気に入りの本を紹介する記事を掲載するほか、発行する季節に応じたテーマに沿った児童書を紹介し児童らの図書館利用促進に努める。</p> <p>(5)幼稚園・保育所等への資料提供と読み聞かせの実施</p> <p>①保育所・幼稚園等へ団体貸出により資料を提供する。</p> <p>②園児等に、小さいころから図書館利用の楽しさを感じてもらえるよう、図書館見学などを受け入れる。</p> <p>③保育所・幼稚園等からの依頼により、図書館ボランティアの協力を得て訪問し、読み聞かせを開催する。</p>		<p>(1)学校図書館の運営支援</p> <p>①「学校図書整理員研修会」を7/30に開催した。講師 大場恵子氏「読書へのアニメーション」*アニメーションとは、読書の楽しさを伝えるとともに読む力を引き出すメソッド</p> <p>②学校図書館への訪問は昨年に続き取りやめたが、団体貸出しのため図書館に来館する教諭との意見交換は継続している。</p> <p>(2)探究型学習支援の充実等</p> <p>①団体貸出 R3年度 29校 1,873冊（前年度27校1,008冊）</p> <p>②読書感想文相談会 ・開催状況 R3.8月.4.5.9.11 相談者：親子4組9人</p> <p>③学校訪問おはなし会 R3年度 山形五小に3回訪問 のべ 約240人</p> <p>(3)職場体験学習等の受け入れ コロナ禍により中止した。</p> <p>(4)発行部数 500部/号 年度途中から、図書館協議会委員の提言を受け、寄稿した児童のクラスには全員分の配布を開始した。</p> <p>(5)幼稚園・保育所等への資料提供と読み聞かせの実施</p> <p>①保育所・幼稚園等へ団体貸出により、絵本等資料を提供した。</p> <p>②園児等に、小さいころから図書館利用の楽しさを感じてもらえるよう、図書館見学を受け入れた。</p> <p>③保育所・幼稚園等に訪問し、読み聞かせを開催した。</p>
評価	成果	<input type="checkbox"/> 令和2年度コロナ禍により中止した学校図書整理員研修会だが、参加者が密にならない
	課題・改善案	<input checked="" type="checkbox"/> コロナ禍において学校現場が多忙となる中においても担当教諭との意見交換の機会を見つけ、ニーズを把握し学校教育の支援ができるよう努めていく必要がある。

取組6 広報・広聴及び情報発信の充実



取組の目的・概要（運営方針）		取組の実施状況（実績）
<p>(1)図書館だよりの発行（G4 G17）</p> <p>①「図書館だより べにばな」を発行し、利用案内、新着本、催し物の開催、図書館ボランティアの活動状況等の情報提供を行う。</p> <p>②本の新聞「としょかんKids」を発行し、児童書の紹介を通して児童生徒の図書館利用の促進を図る。</p> <p>(2)広報やまがた・市公式ホームページ等を通じた情報提供（G4 G11）</p> <p>①「広報やまがた」を活用し、催し物の開催や図書館利用に関する情報提供を行う。</p> <p>②市公式ホームページやフェイスブックを活用し、利用案内や催し物の開催等の情報提供を行う。</p> <p>③図書館ホームページの内容を充実させ、蔵書案内、新着資料案内、催し物開催等の情報提供を行う。</p> <p>(3)利用者アンケートの実施（G4 G11 G17）</p> <p>利用者アンケートを実施し、利用者の属性や図書館利用に関する意向・要望等の把握に努め、その結果を図書館運営に活かす。</p>		<p>(1)図書館だよりの発行（G4 G17）</p> <p>①「図書館だより べにばな」を発行し、利用案内、催し物の開催、図書館ボランティアの活動状況等の情報提供を行った。</p> <p>②本の新聞「としょかんKids」を発行し、児童書の紹介を通して児童生徒の図書館利用の促進を図った。今年度から、寄稿した児童のクラスには全員配布した。</p> <p>(2)広報やまがた・市公式ホームページ等を通じた情報提供（G4 G11）</p> <p>①「広報やまがた」を活用し、催し物の開催や図書館利用に関する情報提供を行った。</p> <p>②山形市公式ホームページ「なんたっすやまがた」や山形市公式フェイスブックページを活用し、利用案内や催し物開催等の情報提供を行った。</p> <p>今年度は、主なイベントは、開催後にフェイスブックに実施状況をアップした。</p> <p>③図書館ホームページの内容を充実させ、蔵書案内、新着資料案内、催し物開催等の情報提供を行った。</p> <p>(3)利用者アンケートの実施（G4 G11 G17）</p>
評価	成果	<p>□ 各季節ごとに図書館だよりを発行したほか、市公式ホームページ、市公式フェイスブックページ並びに図書館ホームページなど様々な媒体を活用し、情報提供を行った。</p> <p>開催案内だけでなく、開催後にイベントの実施内容をアップしたことで、PR効果は上がったと思う。</p>
	課題・改善案	<p>■ 利用者アンケート等を通し利用者の意向を把握しており、今後とも多様化が進むニーズに対応していく必要がある。</p>

取組7 市民参加による図書館運営



取組の目的・概要（運営方針）		取組の実施状況（実績）
<p>(1)図書館ボランティアとの協働（G4 G17） 図書の整理・修理、読み聞かせ、独自事業の企画などを行う図書館ボランティアと協働し、図書館運営の充実を図るとともに、展示会や講座等開催など活動の場を提供する。 また、若手を含むメンバーの補充、育成についても支援する。</p> <p>(2)職場体験の受け入れ（G4 G10 G17） インターンシップや若者支援NPO、青少年及び一般成人の保護組織が実施する、職業体験、就労研修等を受け入れる。</p> <p>(3)図書館協議会での意見や要望等の図書館運営への反映（G4 G16 G17） 図書館協議会における図書館に対する意見や要望等を図書館運営に反映させる。</p>		<p>(1)図書館ボランティアとの協働（G4 G17） 新型コロナへの対応しながら、図書の整理・修理、読み聞かせ、講座・講演会を協働し、図書館運営の充実を図った。（別紙参照） またメンバーの補充、育成についても協議し、広報活動を行った。</p> <p>(2)職場体験の受け入れ（G4 G10 G17） 若者支援が実施する、職業体験、就労研修等を受け入れた。 R3年度 若者サポートステーション20人</p> <p>(3)図書館協議会での意見や要望等の図書館運営への反映（G4 G16 G17）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会のライブ配信 「戦争と暮らしを語り継ぐ」八島信雄氏 ・「本の福袋」事業への中学生の参加 山形三中生による選書とポップ作成 ・「よのなか科的プレゼンに強くなる講座」 全3回シリーズ 佐藤紀之氏 ・「としょかんKids」寄稿児童クラス全員配布 ・司書職(会計年度任用職員)2名配置R4～
評価	成果	<p>□ 図書館ボランティア団体「小荷駄のみどりから・・・」からの協力を得て、「絵本とあそぼう」等の事業を行ったほか、玄関展示で活動紹介を行った。 また、大学生がボランティア活動に参加し始めた事例も出た。</p>
	課題・改善案	<p>■ 安心して参加いただくよう感染症対策を理解してもらう必要がある。 また引き続きメンバーは高齢化しており減少傾向にある。協力し事業を次世代へ引き継ぐ努力が必要である。</p>

取組8 質の高いサービスを支える体制の整備



取組の目的・概要（運営方針）		取組の実施状況（実績）
<p>(1)専門性の向上 館内研修の実施や、他団体等が開催する研修等への参加により、職員の資質向上に努める。</p> <p>(2)分館の充実 ①資料の貸出・返却、予約資料の受け取りなど、本館と分館間のネットワークの充実に努める。 ②各分館のニーズ、利用者層、利用資料の傾向、規模等に応じた蔵書構成に努める。</p> <p>(3)図書館情報システムの利便性向上 利用者にとってより利便性の高い図書館情報システムになるよう運用の充実に努める。</p> <p>(4)長寿命化に向けた安全・安心な施設環境の整備 施設の老朽化に伴い計画的な改修を実施しているが、本年度は消防設備と空調設備の改修設計の委託を行う。</p> <p>(5)危機管理体制の整備 危機管理研修の開催や災害発生を想定した訓練を実施する。</p>		<p>(1)専門性の向上 山形県図書館研究大会等への参加や内部の職員研修により、職員の資質向上を図った。 主な研修会 ・第41回山形県図書館研究大会（オンライン） ・「地域の読書活動を推進していく図書館」 ・開催日 令和3年10月7日</p> <p>(2)分館の充実 ①資料の貸出・返却、予約資料の受け取りなど、本館と分館間のネットワークの充実に図った。 ②各分館のニーズ、利用者層、利用資料の傾向、規模等に応じた蔵書構成を図るとともに、分館相互で資料を融通した。</p> <p>(3)図書館情報システムの利便性向上 館内OPAC（貸出・検索機）にて、予約入力できるようにシステムを変更した。（R3.4～）</p> <p>(4)長寿命化に向けた安全・安心な施設環境の整備 ①消防（警報）設備改修（R3.7～11） ②空調設備改修予定（R4.3～11）</p> <p>(5)危機管理体制の整備 危機管理研修の開催や災害発生を想定した訓練を実施した。（R3.10.29）</p>
評価	成果	<p>□ 図書館システムの利便性向上として、館内OPACから予約ができるようにし、利用者の書く手間を減らした。また、長寿命化に向けた安全・安心な施設として、消防設備の改修を行った。3月からは空調設備を実施する。</p>
	課題・改善案	<p>■ 図書館システムによる更なる利便性向上を図っていく。 ■ 利用者が、安全・安心に図書館を利用できるよう引き続き、施設の計画的な改修及び維持管理を行っていく。</p>